

第 20 回子どもの療養環境研究会と発表演題募集のご案内

入院や外来での治療を余儀なくされた子どもとその家族にとって、身体的・精神的・社会的な負担の軽減が求められます。私たちは、良好な療養環境のもとでこそ、子どもとその家族が前向きに治療に向かい、有意義な療養生活を送ることができるかと確信しています。また、療養を担う医療機関だけでなく、医療を取り巻く地域における保育・学校・施設等との連携が、安心して子育てができる社会の実現につながると考えています。

近年、子どもの療養環境への関心が高まりをみせており、これには過去 19 回開催してきた「子どもの療養環境研究会」も大きく寄与しているものと自負しております。新たに計画・建設される施設や病院において、子どもやその家族に配慮された環境が用意されている事例も増えてきています。

このように広範な“子どもの療養環境”に関わっている皆様に、日頃の取り組みを発表して頂く場として、また課題と対応策を共有できる機会として、第 20 回子どもの療養環境研究会を開催致します。保育・医療・看護・養護・遊び・教育・建築・自然など、多様な分野での様々な取り組みの演題をお待ちしております。

特定非営利活動法人 (NPO) 子ども健康フォーラム
理事長 前田 正信

■第 20 回子どもの療養環境研究会

主 催：NPO 法人子ども健康フォーラム (<http://www.npo-cln.com/>)

日 時：平成 31 年 6 月 9 日 (日) 9:30~17:00 (終了後、懇親会)

会 場：あいち小児保健療総合センター大会議室 (愛知県大府市森岡町)

参加費 (抄録代・懇親会費を含む) 一般：2,500 円 学生：500 円 当 NPO 会員：無料

※子ども健康フォーラム会費：個人会員 5000 円 (年間)、団体会員 2 口 10000 円 (3 人まで無料)

研究会参加費が無料となるのは、研究会当日までに会員となる場合のみとなります。

<プログラム (予定) >

- ・特別講演：「療養環境向上における保育士の役割」(仮題)

日本医療保育学会 理事長

自治医科大学 とちぎ子ども医療センター保育士(医療保育専門士) 中村崇江氏

- ・教育講演：「ヘルスケアアートの実践」(仮題)

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 博士後期課程 彫刻家 高野慎吾氏

- ・一般演題 (公募)、マニユライフ生命寄付金実践報告 (指定)

- ・テーマ (例示)

特別支援教育、在宅医療、発達障害、プリパレーション、プレイルーム整備、ヘルスケアアート、療養環境整備を持続する支援に関する事 など療養環境に関する諸問題や提案

■一般演題を募集していますので奮って応募してください。応募要項は以下となります。

内 容：子どもの療養環境に関する調査、研究、実践、提案など、講演 12 分程度 (討論含む)

方 法：演題名と内容を 400~800 字程度にまとめて発表者の、氏名、勤務先、連絡先を

ご記入の上 郵送、FAX、E-Mail のいずれかでお申し込み下さい。

宛 先：〒460-0011 名古屋市中区大須 4-1-7 601 アルダー環境設計室内

「子どもの療養環境研究会事務局」担当：赤坂幸子

TEL：090-6072-1171 FAX：052-262-3181 E-Mail：office@npo-cln.com

締め切り：平成 31 年 4 月 5 日 (金) 必着

※演題の採用については 4 月末にご連絡いたします。当日の講演内容は抄録集に掲載しますので連絡後

A4 版 2 ページ にご執筆をお願い致します。採用通知の際に書式をお送り致します。

※これまでの子どもの療養環境研究会のプログラムは、

NPO 法人子ども健康フォーラムホームページ <http://www.npo-cln.com/> をご覧下さい。



ホームページ



Facebook